

## (仮称) つくばみらいスマートインターチェンジ地区協議会

### 設立趣意書

つくばみらい市は、平成18年3月27日に旧伊奈町、旧谷和原村が合併して誕生しました。当市は、茨城県の南西部、東京都心から40km圏に位置し、小貝川周辺は広大な水田地帯、丘陵部には住宅地が形成され、豊かな自然環境と調和した居住環境がある個性豊かなまちづくりを展開し、全国の中でもトップクラスの人口増加率を誇る成長力の高い自治体として注目されています。

平成17年には首都圏新都市鉄道「つくばエクスプレス」が開業し、みらい平駅から秋葉原駅まで最速で40分、つくば駅までは12分で結ばれ、みらい平駅周辺は優良な住宅地開発やショッピングセンターの整備など、今後の新しいまちづくりが期待されています。

本スマートインターチェンジ設置は、周辺地域と高速道路とのアクセス性・利便性等の向上により、企業活動の活性化、地域救急医療体制の強化、周辺道路の渋滞緩和等に大きく寄与するものと期待しています。

つくばみらい市では、広域的な交通環境や恵まれた自然環境等、地域の魅力を生かした活力あるまちの実現に向け、市北部の福岡地区における福岡工業団地の整備や、スマートインターチェンジ周辺での新たな産業拠点構想の立案に取り組んでおります。スマートインターチェンジの設置により、企業進出による産業活動の活性化や雇用機会の創出等、周辺地域への波及にも大きく期待しているところです。

このため、国土交通省、茨城県、茨城県警察本部、東日本高速道路株式会社及びつくばみらい市が連携して、スマートインターチェンジの設置に向け必要な検討、調整を行い、供用後も継続して、社会便益、安全性、利用交通量、管理・運営形態等を定期的にフォローアップし、必要に応じ見直す場として「(仮称)つくばみらいスマートインターチェンジ地区協議会」を設立するものです。

令和 元年 8月20日

つくばみらい市長 小田川 浩